

烏帽子物

特42

460

東 京 圖 書 館

和書門

音 樂 類

函

四 七 架

三 號

三 冊

3

早書
なほくあまき侍接人真入はなほはる

伊保やうして早中ね国はなほかへ

らども清軍よるもあつ師はたひら

難しき入りまゝ入るといふはつて後程

思ひはなほしむ事かへ牛書あつて

もめく母のめし作庭の勤農家

きり牛書はつて行入早川上の静浪

中お及々してははなほあつて

牛書
半若けきまひつとつて今日を始てう

ま接よ 粟田口松坂の宮河系

逢坂の関路う約のたよ直て

高人の直後と成るや牛書わら

麻の古わく都の外若き後

了とて今思ひ粟田の系とあつて

勢田乃長橋
野海は夕暮の下の紫色
て昨日の影をかくすおぼしき夕日夜
鏡の宿も暮らさうく 意の宿も鏡
の宿も暮らして後世可は伝承ありする
あゝいふまゝに今もあつたかと思ふ
くまのよみてふげはまていふまゝに

その髪と切き髪一と暮東男も
さかしておらぬと思ひぬ
舟中や旅 報きて海りぬ
舟の可憐も美り作 行の意
しは旅とぬ。舟中の事も種
明日はあつたかと思ふ
旅も種も今もあつたかと思ふ

於よ清上落ちり。基り先祖めてし老ふ
 げたおの志ほり。とあひさくれ君ふ侍
 出仕方一時。帝やのめふ田舎のまほ
 の清我賞ふ。奥陸奥の國とほてし秋
 しを又さあへく。嘉例目出度さほお
 みて入の旗を厚く。とさきて行ぬく代
 よ。出羽の國り侍ら。陸奥の國の侍ふ

かあしせぶつ之。法果報者く。代よ出ぬえ
 時。祝言。一。老。侍。おと。百。れて。目
 出さう。り。出。お。き。よ。ん。あ。は。れ。入。り。あ。は。れ。行。ぬ。も
 昔。あり。き。る。と。は。志。ほ。り。の。た。お。り。その
 侍。り。り。源。平。あ。家。志。無。冒。死。あ。る。梅
 と。榎。木。四。季。あ。る。を。去。秋。月。宮。の。秋
 行。き。と。と。後。白。し。よ。り。所。の。ま。よ。保。え

てまゝゆきつらぐくうためたりんまゝに
お城あつて清まゝやん シテ 何と鎌田者備
正清の女房と伝わり シテ 女房 シテ 言
借道改。け平目うひまゝはまたも
今あつてゐる後くひんぬ。お此は腰の物銭
きんぎょにきつるやん シテ おん シテ
お城あつてゐる腰の物銭 シテ おん シテ

お城あつてゐる腰の物銭 シテ おん シテ
お城あつてゐる腰の物銭 シテ おん シテ
お城あつてゐる腰の物銭 シテ おん シテ
お城あつてゐる腰の物銭 シテ おん シテ
お城あつてゐる腰の物銭 シテ おん シテ
お城あつてゐる腰の物銭 シテ おん シテ
お城あつてゐる腰の物銭 シテ おん シテ
お城あつてゐる腰の物銭 シテ おん シテ
お城あつてゐる腰の物銭 シテ おん シテ
お城あつてゐる腰の物銭 シテ おん シテ

牛若丸

とてし妻小もく受て其と。五十崎牙

切少のさるる。あつらぬるさるる。

早 是の頼ましき事と信者おは。意皆昔

のし作 面まの武具して信の人た勢

信の子の小の事のさるると 多たくくして

鞍馬あまのく。年月とし多たく。兵法へいほうの術じゆつと

今いまこそこのの形かたち。衣え者もの妻つま戸ととと無な見みく

興き津つ白しろ浪なみののああららのの道みちと信の者もの

きりりく あららももててああらら者もの

ききく 雲と信のと信のつて信のたり いふ

あ者ものを 信の前まへおの 信の手てああららつ

と開ひらきひらかかつつのの向むかひひと早はやひひららひ

んん信のひひののああららへへとと或あるりり対たいれれ。又またききた

ああららののああららへへとと又またききた

ああららののああららへへとと又またききた

めぬ贖病者。扱東首の占まらざるに
東首の切て落し。二乃東首をかくり
三ききて投ゆしてゆき。さうある者
て候。申しとたふす。東首を占ひ
とらんと。のきとまらぬ軍神。二の東首
の時。軍にゆき。命ある。さうある
清ら。今夜。東首の扱。出候。

の如く。此候。少て。鬼神。少ても。な。い。お
敷。明。ら。く。出。あり。と。さ。う。い。は。さ。る
の。ら。の。さ。て。社。い。は。り。て。な。ら。ま。か
ま。く。お。然。坂。の。長。範。今。夜。の。夜
討。候。ま。り。て。行。ふ。面。は。し。な。ま。を。只
責。入。や。者。者。た。と。な。ま。上。て。呼。り。り。り
候。と。は。ら。ら。切。て。今。り。其。物。一。も。な。ら。ず

上り

上り

花重^{ハナシヅメ}の^{ハナシヅメ}な^{ハナシヅメ}より^{ハナシヅメ}火^ヒを^ヒ出^デして^デ火^ヒの^ヒ火^ヒと
 割^ワて^ワ戦^{セン}ひ^{セン}し^{セン}秘^ヒ術^{ジュツ}以^モて^モ畫^エる^エ大^{オホ}き^キ方^{カタ}も^モは
 曹^{ソウ}司^シの^シ小^コき^キ方^{カタ}小^コ切^キき^キれ^レ積^{ツク}る^ル方^{カタ}小^コ成^ナて^テそ
 火^ヒを^ヒま^マさ^サり^リの^ノま^マれ^レ ^音お^オ物^{モノ}ま^マい^イち^チけ^ケま^マす
 づ^ヅく^ク廻^マて^テカ^カの^ノ勝^{カチ}肩^{カネ}せん^ンと^トて^テ古^コ方^{カタ}投^{ナゲ}
 捨^スく^ク大^{オホ}き^キ方^{カタ}廣^{ヒロ}ま^マて^テ飛^{トビ}て^テま^マれ^レ音^音で^デ
 の^ノろ^ロひ^ヒの^ノ羅^ラ路^ロハ^ハ切^キき^キて^テま^マり^リと^トま^マる^ル

ひ^ヒを^ヒま^マさ^サり^リ起^キよ^ヨと^トて^テ行^{ユク}く^クま^マは^ハの^ノ音^音面^面
 あり^{アリ}ま^マさ^サり^リの^ノま^マり^リて^テ獨^{ドコ}り^リと^トま^マり^リの^ノ
 蘇^ソ坂^{サカ}者^{モノ}長^{チカ}袍^ホと^トぬ^ヌへ^ヘの^ノ小^コ成^ナく^クと^トま^マる^ルせ
 よ^ヨま^マれ^レ

右之本者觀世大夫織部
章句真本令放行畢

正德六^丙申歲弥生

天保十一^{庚子}歲孟春改正再校

皇都二条通御幸町西入町

山本長兵衛



明治十六年九月六日
同 年同月
翻刻御届
刻成發兌

翻刻人

京都府平民

上京區第三組上白山町七番戸

本田市次郎

定價金七錢

京都專賣書林

北村善兵衛
風月庄左衛門
石田忠兵衛
町田與三吉
佐条總四郎
細川清助
辻本九兵衛
福井孝太郎
竹岡文助
福井源次郎

村上勤兵衛
辻本定次郎
須磨勘兵衛
遠藤平左衛門
大谷仁兵衛
杉本甚助
大谷玄之助
明田嘉七
笹田弥兵衛
田中治兵衛

菱澤重兵衛
内藤彦一
川勝徳次郎
今井七良兵衛
藤井淺次郎
近藤太十郎
澤田友五郎
西村七兵衛
西村九良右衛門
永田調兵衛

